

## 護摩堂

護摩堂は護摩の儀式を行うために建立されました。護摩供修法とは、紙や小さな木片に書かれたメッセージを火に灯して神々に伝達する祈祷の形態です。護摩供修法を行うことで、輪王寺の重要な歴史的木造建造物が(火災に襲われる)危険があるため、護摩堂は建立されることが決定されました。

護摩堂の外観は伝統的様式を保っているが、最新の鋼鉄で補強されたコンクリートで作られています。地震に備えて安全に作られている他、護摩の最中、なんらかの事故が起きた場合でも、近くの文化的財産に火が燃え移ることを防ぐことができます。護摩堂は 1998 年に建立された、輪王寺で最も新しい建造物です。